

1. 県内感染症情報

1) 全数報告感染症（1～5類感染症）

[]は無症状病原体保有者を再掲

結核が10件[5](浜田圏域)、レジオネラ症が2件(雲南圏域1件、出雲圏域1件)、侵襲性肺炎球菌感染症が3件(出雲圏域)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が1件(松江圏域)報告されています。

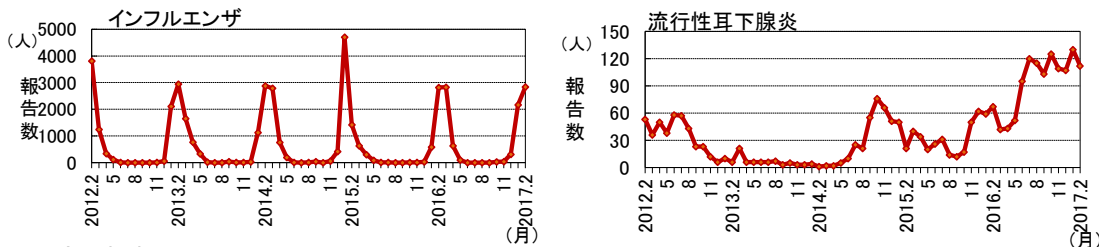
*週報告医療機関からの報告患者数(4週換算)：12月 2,140件 1月 3,351件 2月 3,888件

島根県保健環境科学研究所
島根県感染症情報センター
Tel :0852-36-8181

2) インフルエンザ及び小児科定点報告 ()内は月の定点当たり報告数(4週換算) []は週の定点当たり報告数

- インフルエンザ : (74.8)。県内全域の患者報告数は2月上旬第5週[24.7]をピークに減少していますが、1月に比べ増加しており、注意報レベル[10.0]を超える流行が続いています。特に、松江圏域(96)及び雲南圏域(71)では1月下旬及び2月上旬に警報レベル[30.0]を超える流行となった後減少していますが、警報レベル終息基準値[10.0]を超える流行が続いています。大田圏域(82)、出雲圏域(75)、益田圏域(72)及び浜田圏域(第8週を除く)(50)で注意報レベル[10.0]を超える流行が続いています。A型を中心に、少数ながらB型も医療機関で検出(迅速診断)されています。予防接種、うがい、手洗い、咳エチケット等感染予防を心掛けましょう。
- 感染性胃腸炎 : (19.9)。薬事衛生課から冬季の食中毒注意報が発表されています。県内全域の患者報告数は1月に比べ減少していますが、大田圏域(42)でやや流行しているほか、各圏域で患者発生報告があります。冬季はノロウイルスを中心としたウイルス性食中毒が発生しやすい時期です。手洗いの励行と食品の取扱いに注意しましょう。
- A群溶連菌咽頭炎 : (12.4)。県内全域の患者報告数は増加しています。松江圏域(24)及び出雲圏域(18)を中心に、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。合併症を来さないよう早期診断と確実な治療が重要です。
- 流行性耳下腺炎 : (4.9)。県内全域の患者報告数は1月(5.7)に比べやや減少していますが、過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、雲南圏域(16)では12月中旬以降流行が続いており、警報レベル終息基準値[2.0]以上の流行が続いているほか、浜田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり、注意が必要です。有効な予防方法は予防接種で、現在、任意予防接種として1歳以上で接種することができます。
- 咽頭結膜熱 : (1.9)。雲南圏域(3)、出雲圏域(3)、益田圏域(3)及び松江圏域(2)で患者発生報告があります。
- 伝染性紅斑 : (1.2)。県内全域の患者報告数は1月に比べ減少していますが、大田圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。
- 水痘 : (1.1)。雲南圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。

過去5年間の発生推移(2012年2月～2017年2月：月4週で換算)



3) 眼科定点報告

急性出血性結膜炎及び流行性角結膜炎ともに患者発生報告はありませんでした。

4) 性感染症報告

性器クラミジア感染症が9件、性器ヘルペスウイルス感染症が1件、尖圭コンジローマが1件及び淋菌感染症が6件の患者発生報告があります。

5) 基幹病院報告

- マイコプラズマ肺炎 : 10件(4週換算)。1月に比べ減少していますが、雲南圏域では5件と患者報告数の多い状態が続いているほか、大田圏域2件、益田圏域2件及び浜田圏域1件の患者発生報告があります。
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 23件。地区別では西部からの報告が15件(65%)を、年代別では70歳以上が16件(70%)を占めています。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症 : 2件。西部で70歳代以上2件の報告があります。

2. 病原体検出情報（2017年1月～2017年2月までの検出結果）

インフルエンザは、8月にA香港型が検出されて以降、県内全域でA香港型のみ検出が続いていましたが、2月に西部でA2009型が1件、中部でB型(ビクトリア系統)が1件検出されています。感染性胃腸炎は、ノロウイルスGⅡが検出されていますが、例年と比べ検出数は少ない状況です。咽頭結膜熱は、アデノウイルス1型、2型、3型及び5型が検出されています。ライノウイルスが、肺・気管支炎、咽頭炎、咽頭結膜熱及びインフルエンザと、様々な診断名の症例から検出されています。

2017年1月から2017年2月までの診断名別病原体検出数：島根県保健環境科学研究所（一部抜粋）

診断名	アデノ		キコク	エコー	エイ			ライ	ニヒ	ノ	合計
	1	2	5	6	AH1	AH3	Bvic	ノ	ロ		
インフルエンザ						1	62	1	1		65
咽頭結膜熱	2	2	1	1				1			8
感染性胃腸炎										3	3
咽頭炎		1			1				1		4
肺・気管支炎		1							7	1	9

島根県感染症発生動向調査情報（定点把握疾患：月集計）

島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2017年 2月

平成29年1月30日～平成29年2月26日

区分	県			圏 域 別																	報告数推移 [※]							
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	11月	12月	1月	2月	
インフルエンザ [※] 定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	2844	1428	1416	1052	214	678	245	251	359	45	8	49	158	157	165	211	176	194	137	169	128	531	761	39	314	2164	2844	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	17	9	8	4	3	2	-	-	8	-	2	4	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	245	65	36	17	
咽頭結膜熱	43	22	21	11	5	17	-	-	10	-	1	11	19	5	3	-	1	2	1	-	-	-	-	49	51	28	43	
A群溶連菌咽頭炎	286	152	134	168	5	90	-	6	17	-	-	5	8	14	36	35	44	36	17	25	22	39	5	186	188	186	286	
感染性胃腸炎	457	242	215	169	27	95	83	6	58	19	3	22	76	49	48	39	45	34	19	22	14	56	30	1041	1171	611	457	
水痘	26	16	10	4	-	4	5	12	1	-	1	5	3	3	5	3	2	2	-	2	-	-	-	37	47	41	26	
手足口病	20	12	8	-	1	18	-	1	-	-	-	4	9	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	86	70	26	20	
伝染性紅斑	28	15	13	3	5	6	-	3	9	2	-	1	-	3	5	4	1	1	2	3	3	4	1	59	62	57	28	
突発性発疹	44	24	20	14	2	18	1	2	6	1	1	14	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	47	48	44	44	
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	
ヘルパンギーナ	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	3	-	1	
流行性耳下腺炎	112	59	53	29	31	31	2	-	19	-	-	-	10	10	19	14	19	13	8	7	5	4	3	109	107	130	112	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	1	-	
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	
マイコプラズマ肺炎	10	5	5	-	5	-	2	1	2	-	-	-	4	3	-	-	-	1	-	1	-	-	1	13	9	18	10	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	

※月の週数により補正しています。

島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

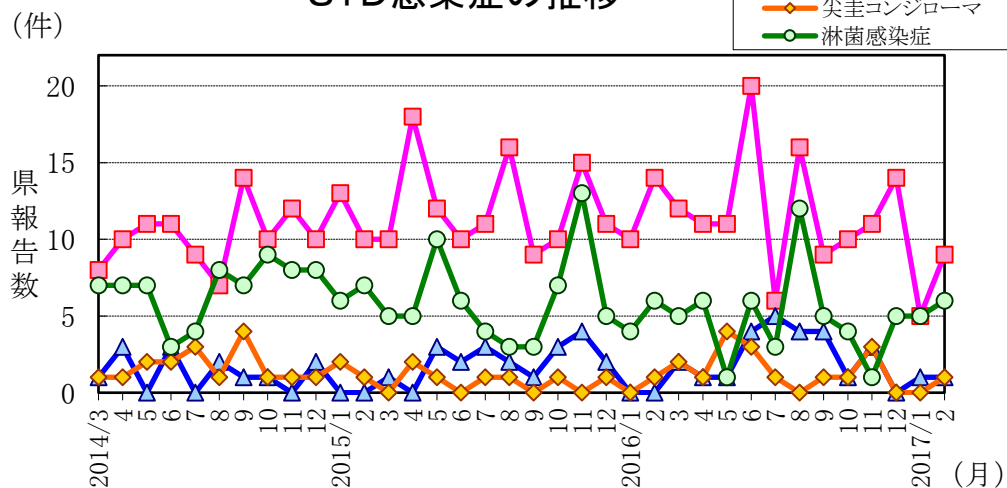
島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2017年 2月

平成29年2月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)															
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2月	
STD定点	6			2	2	2	0									6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
性器クラミジア感染症	9	6	3	6	1	2	-	-	1	6	2	-	-	-	-	14	12	11	11	20	6	16	9	10	11	14	5	9	
性器ヘルペスウイルス感染症	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	1	4	5	4	4	1	3	-	1	1	
尖圭コンジローマ	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2	1	4	3	1	-	1	1	3	-	-	1	
淋菌感染症	6	6	-	-	2	4	-	-	2	2	2	-	-	-	-	6	5	6	1	6	3	12	5	4	1	5	5	6	
基幹病院定点	8			1	3	3	1								8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	23	14	9	3	5	15	-	1	-	-	-	1	1	4	16	34	34	24	24	23	24	23	32	24	23	19	19	23	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	2	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2

STD感染症の推移



薬剤耐性菌感染症の推移

